令和7年度 特色選抜 合否判定基準 (20%)

【1】 活動分野別ランク表

(ア) 生徒会活動、学級活動、学校活動、生徒会役員、学級役員などリーダー的活動

ランク	活動歴	実績	証明書類など
I	生徒会長	左記の役職を経験している	任命書などのコピー 中学校任意様式可
II	生徒会副会長	〃	
III	生徒会執行部	〃	
IV	正HR長	〃	
V	副HR長	〃	

(イ) 部活動(スポーツ分野・文化分野)/大会/コンクール入賞実績

(1) スポーツ分野

ランク	活動歴	実績	証明書類など
I	県選抜選手	県大会団体：準優勝以上	大会実績を示す 賞状等(団体競技 はメンバー表の コピーを添える)
		県大会個人：ベスト4以上	
II	各地区選抜	県大会団体：ベスト4	
		県大会個人：ベスト8以上	
III	市町村選抜 部長(リーダー性)	県大会団体：ベスト8	
		地区大会団体戦：準優勝以上	
		県1年生大会：準優勝以上	
		地区大会個人戦：ベスト4以上	
IV	同一部活動を三年間継続	学校代表レベル	部長・部活動継続を 証明する学校任意様 式可
V	部活動を三年間継続	学校代表レベル・マネージャー	

(2) 文化活動分野/大会/コンクール入賞実績

ランク	活動歴	実績	証明所など
I	県代表の一員として参加	県代表または最優秀賞	大会実績を示す賞状等のコピー
II	地区代表の一員として参加	地区代表レベルまたは優秀賞	
III	市町村代表の一員として参加 部長(リーダー性)	市町村代表レベル 部長	
IV	学校の代表として参加	学校代表レベル	部長・参加を証明する学校任意様式 可

(ウ) 社会的活動分野

ランク	活動歴	実績	証明書類など
I	継続的で組織のリーダーを務めた	全国的活動	活動を証明する 公的証書または そのコピー等
II	地域での継続的な活動①	全県の活動、ボイスカウト(菊スカウト)	
III	地域での継続的な活動②	市町村レベルでの表彰	
IV	短期的な活動		

(エ) ボランティア活動分野

ランク	活動歴	実績	証明書類など
I	継続的で組織のリーダーを務めた	全国レベルでの活動	活動を証明する 公的証書または そのコピー等
II	地域・学校での継続的な活動①	県レベルでの表彰	
III	地域・学校での継続的な活動②	法人組織や市町村レベルでの表彰	
IV	短期的な活動・学校生活での継続的な活動		

(オ) 資格・検定取得 ※証明書類：合格証のコピー

ランク	英語検定	漢字検定	数学検定
I	2級	準1級	2級
II	準2級	2級	準2級/計算技能検定2級/数理技能検定2級
III		準2級	計算技能検定準2級/数理技能検定準2級
IV	3級	3級	3級
V			計算技能検定3級/数理技能検定3級

【2】 判定に係る点数について

1. [実績点] : [学力点] : [内申点] = 100 : 100 : 100 とする
2. 実績点 ⇒ I ランク=100点, II ランク=80点, III ランク=60点, IV ランク=40点, V ランク=20点
3. 学力点は学力検査の250点分(50点×5教科)を100点に換算、内申点は3年間の評定合計の最大値165を100に換算する。
4. 実績点、学力点、内申点の合計を総合点(300点満点)とする。

【3】 不適格条件について

1. 無届欠席が各学年のいずれかに6回以上ある者
2. 行動の記録で特に問題のある者
(面接結果がCの者、所見欄にマイナス面の記載がある者も問題とする)
3. 特色選抜出願者における学力検査平均点の60%未満の者

【4】 判定の手順

①受検生を総合点により、上位からA圏、B圏、C圏に分けて審議する。その際、各圏で不適格条件に該当する者をそれぞれA'圏、B'圏、C'圏とする。

②各圏の不適格に関しては、次の圏と一緒に審議する。

※ 総合点が高点の場合は、次の優先順位により審議する。(実績点→学力点→内申点)

ただし、学力点および内申点は、換算前の学力検査点(250点満点)、評定合計値(最大165)を用いて審議する。

【5】 キラ星枠志願者の実技試験について

1. 実技試験は出願時に申請した活動分野についての試験を実施する。
2. キラ星枠志願者の実技試験の結果は特色選抜の判定には使用しない。